



# 日本共産党・井上かつひろ議員

## 市議会一般質問 16回・討論 59回

市議会(2020年～2024年)  
一般質問回数と討論通告数

議員任期中、最後の9月議会が8月20日から始まっています。一般質問予定の議員が決まり、2120年の改選後から今回の議会までの間、すべての定例会で一般質問を行ったのは、井上かつひろ議員を含む3人でした(左表参照)。  
最終本会議で井上議員は圧倒的多数の59本の討論(通告しない討論は含まれていない)を行っています。「市民の声を直接議会に届ける」役割を貫いています。

井上かつひろ市議の一般質問は8月30日(金)、2番目午前11時頃(2面)

会派名	議員名	一般質問回数	最終本会議の討論	備考	
会派に属さない(※)	井上 勝博	16	59	共産党	
創造薩摩川内	帯田 裕達	8	0	議長	
	大田黒 博	2	0		
	石野田 浩	4	0	監査委員	
	宮里 兼実	4	0		
	新原 春二	1	0		
	下園 政喜	7	0		
	創和会	森満 晃	12	0	前期2年議長
		落口 久光	16	0	
川添 公貴		5	0	前期2年監査委員	
瀬尾 和敬		3	0		
自民創志会	福田 俊一郎	2	0		
	徳永 武次	1	0		
	山元 剛	7	1		
新創会	阿久根 憲造	15	0		
	溝上 一樹	15	2		
	山中 真由美	13	1		
公明党	成川 幸太郎	12	0		
	犬井 美香	16	1		
令和会	坂口 正幸	13	0		
	中島 由美子	12	0		
令和会	塩田 耕太郎	12	0		
	岩切 正之	6	1		
会派に属さない	森永 靖子	12	0		

※二人以上でない会派は認められていません。井上勝博議員は日本共産党です。会派は現在名です。

### 川内原発停止を要請

#### 日向灘地震を受け鹿児島実行委

14日、ストップ川内原発! 3・11鹿児島実行委員会は、九州電力に対し、8日の日向灘を震源とする地震を受けて川内原発を停止するよう緊急の申し入れを行いました。

要請書は、8日の日向灘の地震はさらにM7級以上の地震がおこる可能性を高め、このこと、運転開始から40年を経過する老朽原発は

不測の事態を起こす危険があること、川内原発の周辺には未知の活断層が存在する可能性があること、能登半島地震で志賀原発が稼働中であれば事故に至る可能性があったことなどから「定期検査中の川内原発1号機を再開しないこと」「運転中の2号機を停止すること」を要請しました。



川内原発を停止するよう要請する、会のメンバー = 14日、鹿児島市

投票では、▽地震が起きた時、何が心配か▽福島第一原発事故による帰還困難区域がいまだにあることを知っているか▽川内原発が事故を起こしたときに避難できるか▽川内原発の稼働延長についてどう思うかーなどを訊

ねました。原発事故が起きた時に「被ばくするかもしれない」40人に対し、「安全に避難できる」とどの回答は3人にとどまりました。川内原発が40年を超えて運転していることについて「仕方ない」10人に対し、「事故が起きないか心配」は48人と、多くの人が不安を感じていることがわかりました。

# エプロンおばさんの 簡単クッキング (644)



## アボガドの鉄火丼

材料 (2人分) .....  
 マグロ (刺身用) 1 さく (200g)、アボガド 1 個、温かいご飯茶わん 2 杯分、A (しょうゆ・みりん各 2 大、すりおろしたショウガ 1 片分、練わさび・ゆずこしょう各適量)、焼きのり適量、マヨネーズ適量 (好みで)

- 作り方 .....
- ① マグロは食べやすく切り、ボウルに入れて A とまぜる。
  - ② アボガドは皮と種を取り、食べやすく切って①にまぜる。
  - ③ 茶わんにご飯を入れる。焼きのりを手でちぎってのせ、②をのせる。好みでマヨネーズをかける。

こちらくらしの相談所  
 (No. 584)  
 携帯 080-3996-0237  
 (井上)  
 なんでもご相談ください。

樋脇の資源ごみ回収を月二回にしてほしい  
 (相談)  
 「資源ごみの回収は入来や川内など月に2回

あるのに樋脇町は1回です。月2回、回収して欲しい。」  
 (市の回答)  
 合併以前の流れから、樋脇地域については、これまで資源ごみの回収は月1回としており各自治会の協力により資源物収集所の管理運営していただいています。各自自治会で回収した資源物については、市が一般廃棄物収集運搬許可業者(以下「許可業者」という。)に委託し、各地区ごとに収集を行っていただいております。許可業者の体制の確保も必要ではありませんが、樋脇地域全体で月2回、回収して欲しいと市に対して要望がありましたら、変更の可能性について検討したいと思います。

## 9月市議会

# 井上かつひろ市議の一般質問は 8月30日(金) 2番目午前11時頃

市議会傍聴は誰でもできます。市役所4階の傍聴席入口からお入りください。なお質問は予定よりも早く始まる場合もあります。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 学校に、大阪・関西万博を修学旅行先に選定するに当たってリスクを知らせるべきではないか。           | 4 新型コロナウイルススワクチンの定期接種費用の自己負担額を無料にできないか。 | 7 南海トラフ地震                                       |
| 2 アクセスの問題はないか。  | 5 会計年度任用職員「3年目公募」の廃止を                   | 3 生活保護を受給中でエアコンを                                |
| 3 事前の下見が困難ではないか。  | 6 市議会は、非核都市宣言を決議している                    | 2 窓口に無償化するに当たり、現在厚生労働省から窓口に無償化を進める自治体に圧力がともいえる通 |
| 1 安全性の懸念はないか。   | 1 薩摩川内市は非核宣言都市という認識はあるか                 | 1 窓口に無償化するに当たり、現在厚生労働省から窓口に無償化を進める自治体に圧力がともいえる通 |
| 2 子どもの医療費を窓口に無償化するに当たり、現在厚生労働省から窓口に無償化を進める自治体に圧力がともいえる通 | 2 自然災害は避けられないが、原発事故は避けることができないか。        | 2 窓口に無償化するに当たり、現在厚生労働省から窓口に無償化を進める自治体に圧力がともいえる通 |
| 3 事前の下見が困難ではないか。  | 3 川内原発の運転延長について、考え直す気はないか。              | 3 生活保護を受給中でエアコンを                                |
| 4 新型コロナウイルススワクチンの定期接種費用の自己負担額を無料にできないか。                 | 4 南海トラフ地震の被害をどのよう想定しているか。               | 4 南海トラフ地震                                       |
| 5 会計年度任用職員「3年目公募」の廃止を                                   | 5 自然災害は避けられないが、原発事故は避けることができないか。        | 5 南海トラフ地震                                       |
| 6 市議会は、非核都市宣言を決議している                                    | 6 南海トラフ地震の被害をどのよう想定しているか。               | 6 南海トラフ地震                                       |
| 7 南海トラフ地震   | 7 南海トラフ地震の被害をどのよう想定しているか。               | 7 南海トラフ地震                                       |

(訂正とお詫び)  
 きずな1088号の「こちらくらしの相談所」コーナーで市営住宅減免基準「金額が2万5001円から50万円以下」は「金額が2万5001円から5万円以下」の間違いでした。訂正しお詫びします。



←中俣先生のブログはこちら

## 中俣先生の つれづれなるままに (769)



暑い。とにかく暑いのである。幼いころもこうであったのだらうか。夏だから当然暑かったが、もっ少しからつとしていたように思う。今は蒸し風呂だ。暑いさなか、小さいころは泳ぎに行きたくても、強引に昼過ぎの2時までには昼寝をさせられた。昔は日射病と言っていたが、いまで言う熱中症対策であったらう。2時になると、4時ごろまでは水につかっていた。近所の子どもたちもみんなそうだった。多いときは30名近くの子どもたちが泳いでいて、水の中で体がすれ違う時のヌルとした感触は、今でも記憶に鮮明だ。泳ぎ疲れて、西日を浴びながら帰る足取りは、まるで夢遊病者のようだった。今の子どもたちはどうだろう。児童クラブの子どもたちは一日中クーラーの中にいる。泳ぎに連れていきたくてもライフジャケットが必要。まったく子どもたちのなかから野性味が失われていくよう心配だ。うちの孫たちは、私の監視のもと、自由に裏の川で泳いでいた。ある時はもう時間がないと、孫にせがまれて川に出かけて行ったこともある。おかげさまで3人が3人とも、順調に子ども時代をセミの抜け殻として潜り抜け、大人になっていったような気がする。一人は看護師として。もう一人はレントゲン技師として。最後の一人は高2だが、消防士になると言っている。この子たちの成長を見届けて私は、それこそセミの抜け殻となっていくのだらう。遠くの木々で、ひと夏の命を激しく蝉が鳴いている。(児童クラブ支援員)